

令和 7 年 3 月 7 日

保護者 様

荒尾市立平井小学校
校長 木村 幸一

令和 6 年度 児童・保護者の学校評価の結果について(お知らせ)

日頃より、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、『荒尾市立平井小学校 学校評価(児童・保護者)』の結果についてお知らせいたします。保護者の皆様のご協力を得ながら、全児童と全保護者を対象に実施しました。

この学校評価の結果を受けて今後の指導の改善に役立てていきたいと考えています。今後とも、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◎アンケートの評価については、平均得点が上位の項目を「良かった項目」、平均得点が 3.00 未満の項目を「悪かった項目」としてあげています。(「あてはまる」4 点、「だいたいあてはまる」3 点、「あまりあてはまらない」2 点、「あてはまらない」1 点)

1 児童の学校評価について

【良かった項目】(平均得点が上位の 5 項目)

内 容	平均得点
平井小学校で学んでよかったと思う。	3.67
登下校など、いつも交通事故に気をつけている。	3.65
タブレットや電子黒板を使った学習に、ルールを守って、進んで取り組んでいる。	3.63
先生は、友達のことなどで困ったり悩んだりしているときに相談にのってくれる。	3.61
先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる。	3.60

【悪かった項目】(平均得点が 3.00 未満の項目)

内 容	平均得点
毎日、家で決められた時間以上、進んで家庭学習をしている。(1 年生…20 分、2 年生…30 分、3 年生…40 分、4 年生…50 分、6 年生…70 分)	2.71
家では、テレビや動画を見る時間やインターネットやゲームをする時間を守っている。(2 時間以内、夜 9 時以降はしない)	2.87

【考察】

- 児童は先生が「友達のことなどで困ったり悩んだりしているときに相談にのってくれる」「わかりやすく勉強を教えてくれる」と感じているようです。その結果「平井小学校で、学んでよかったと思う」という項目で肯定的な結果が出ていると考えられます。ただ「わかりやすく勉強を教えてくれる」については高い評価ではありますが、昨年度に比べ微減しています。一人一人の子供に向き合い誰一人取り残さない取組の推進については反省すべき点として捉え検討していきます。
- 児童は、「登下校など、いつも交通事故に気をつけている」ようです。登下校時の地域の方々の見守り支援は大きいです。事故が起きないように、安全な歩行の仕方、ヘルメッ

ト着用等、日頃から学校と家庭、地域で注意を促していく必要があると考えます。

- 児童は「タブレットや電子黒板を使った学習に、ルールを守って、進んで取り組んでいる」ようです。タブレットでロイロノート等を使いICTを効果的に活用した学習により、児童はお互いの考えを共有したり情報を集めたりしながら、それらを取捨選択して思考・判断していきます。家庭学習にも活用していますが、長時間使わない等、健康面にも気をつけながら、ルールを守って使うよう家庭と連携をしております。
- 「図書室などから本を借りて、よく読んでいる」（そう思う＋だいたい）は10.3ポイント上がりました。各学級での読書奨励、図書委員会の読書ビンゴ、読書まつり等の取組が効果を上げているようです。学校での読書と家庭での読書のつながりを作ることも引き続き大切にしていきます。
- 「毎日、家で決められた時間以上、進んで家庭学習をしている。」が特にできていないようです。学年が上がるにつれてできている数値が小さくなっています。家庭学習の工夫（学校での学習と連動した内容、取り組む内容の自己選択、タブレットの活用、確実な看取り等）をしながら、家庭とも連携して学習習慣を身に付けさせてまいります。

2 保護者の学校評価について

【良かった項目】（平均得点が上位の5項目）

内 容	平均得点
子どもは、楽しく学校に通っている。	3.57
子どもを平井小学校に通わせてよかったと思う。	3.49
先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる。	3.33
家庭では、学校の事や友だちの事など話をよく聞いている。	3.29
子どもは登下校など、いつも交通事故に気をつけている。	3.24

【悪かった項目】（平均得点が3.00未満の項目）

内 容	平均得点
子どもは、毎日、学年で決められた時間以上の家庭学習をしている。（1年生…20分、2年生…30分、3年生…40分、4年生…50分、6年生…70分）	2.23
（三中校区メディアコントロール）家庭では、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間は、2時間以内、夜9時以降はしないということを守っている。	2.29
子どもは、学級内での読書を含めよく読書をしている。	2.31

【考察】

- 「子どもは、楽しく学校に通っている」「子どもを平井小に通わせてよかったと思う」「先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる」「子どもは登下校など、いつも交通事故に気をつけている。」のポイントが高く、学校の取り組みを評価していただいています。また、「家庭では、学校の事や友だちのことなど話をよく聞いている。」のポイントも高く、家庭でのサポートをありがたく思います。また、地域からも多くの支えがあり、学校の取り組みを理解、協力いただいています。
- 「子どもは、毎日、学年で決められた時間以上の家庭学習をしている」「（三中校区メディアコントロール）家庭では、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間は、2時間以内、夜9時以降はしないということが守れている」が低く、テレビや動画の視聴やゲームやインターネットの時間が多くなり、家庭での勉強時間が不足しているようです。メディアコントロールの取り組みで、「学習の時間に比べるとメディアの時

間が多い」という振り返りをしている児童が多くいました。家庭学習については、学校での学習と連動した内容、取り組む内容の自己選択、タブレットの活用、確実な看取り等に取り組んでいます。また、メディアの時間が長くなることの弊害について学習したり、メディアに関する講師招聘授業（高学年）を行ったりしています。三中校区メディアコントロールの取組では家庭にご協力いただき、「メディアの時間が減った分、勉強する時間が増えた」という声もいただいています。

3 来年度に向けて

保護者アンケートと児童アンケートの「低い評価」の項目の改善について、職員で共通理解を図り、対策を実施していきます。

(1) テレビや動画の視聴やゲームやインターネットと家庭学習の充実

学年に応じた家庭学習時間について、学級懇談会等で再度確認します。テレビ等の視聴やゲームやインターネットの利用時間を守って家庭学習時間を確保することについて、さらに指導してまいります。また、家庭学習については、学校での学習と連動した内容、取り組む内容の自己選択、タブレットの活用、確実な看取り等に取り組んでまいります。

(2) 読書の推進

学校で図書の本を借りる機会、及びタブレットを使ったあらお電子図書館の利用を継続して定着させ、学校での読書と家庭での読書を更につなげることが大切と考えます。図書室では新刊図書や新聞記事等を積極的に紹介したり本に親しむイベントを行ったりして、図書館利用を推進してきました。週末の取組として一定時間の読書を家庭学習とする等、家庭との連携を進めてまいります。

4 学校関係者評価委員会の協議等から

2月28日（金）に平井小学校学校運営協議会（兼 学校関係者評価委員会）を開催し、今回の学校評価アンケートの結果についてご協議をいただきました。全体については高い評価をいただきました。今後、更により学校となるように下記のご意見をいただきました。

- 学習発表会（授業参観）では、子どもたちの元気な姿、しっかり発表する姿が見られた。学年を追うにしたがって学びの深まりや成長の様子が見られた。
- 小さいうちから本を読む習慣をつけてほしい。荒尾市立図書館のデジタル書籍も活用していきたい。
- 登校班で、先頭の子どもが遅い子どもを待っている様子があり感心した。横断歩道は左右をきちんと確認して渡るようにしたい。
- 子どもの学習、地域イベントへの積極的参加が素晴らしい。
- 学校のホームページへのアクセスが、三中校区の他校よりも多い。記事や写真の掲載を見るという保護者が多い。継続した取り組みをお願いしたい。
- 保護者のアンケート回収率が高いことは素晴らしいこと。学校と家庭とで見方が一致することは、これからの改善につながっていく。
- これからも、学校・保護者・地域が一体となって、さらなる「笑顔まんかい平井っ子」の実現に向けて取り組んでいきたい。